

2018年度 技術職員初任者研修

担当	講義名	講師	講習日	時間	集合場所	放射線区域	内容
素核研	素核研紹介		4月25日	9:20～16:00 (予定)	四号館三階輪講室2 (346会議室)	なし	午前中は座学にて、素核研内の4つの各Grでそれぞれどんな仕事をしているのかを学ぶ。午後は、主に試験装置の見学を行い、実物を見ることにより午前中に学んだことを深掘りする。
物構研	物構研(加速器)紹介 (東海)		5月9日	8:10～16:35	業務連絡バス乗車	MLF リニアック	AM 中性子・ミュオンについて講義をした後、MLFを見学し、技術職員から、担当している仕事について説明を受ける。 PM (加速器担当)リニアックのクライストロンギャラリなどを見学する。
	高エネ研のインフラ		5月11日	13:00～16:30	2号館1階会議室小	なし	施設部企画課副課長らより施設部への工事の依頼方法などについて説明を受ける。 中央変電所にて設備管理課副課長(電気担当)より、東京電力から高エネ研の受電、高エネ研の中央変電所から各実験施設の実験装置までの電力供給の流れ(中央変電所→変電所→サブ変電所→実験盤)などについて説明を受け、変電所内を見学する。 PFエネルギーセンターにて設備課副課長(機械担当)より、実験用冷却水、圧縮空気などの供給について説明を受け、現場を見学する。
	電気安全		5月18日	10:00～12:00	PF実験準備棟2階輪講室	PF実験ホール	電気安全について、実際に起こった事故事例などの写真も紹介しながら基本的な内容(プレカの容量と電気配線の太さ、漏電についてなど)について講義する。またPFで行っている電気安全に関する対策等も紹介する。
加速器	加速器(物構研)紹介		4月27日	9:00～17:00			AM: 加速器研究施設について座学にて説明した後、ATF、STF、COI棟見学を見学する。PM放射光リングを見学する。 PM:つくばの物構研や放射光の実験などについて講義をした後、PF実験ホール見学をする。見学では技術職員の仕事を紹介しながら実習としてインタロックの操作などを行う。
	加速器概論(1回目)		4月19日	10:30～17:00	2号館1階 総研大講義室	STF棟	加速器の歴史的展開と現状から将来への展望を学ぶ。 主要加速器の動作原理に関する基本的な説明を含む。
	加速器概論(2回目～)		4月26日				自由参加 詳しくは以下をご覧ください。 http://www2.kek.jp/acc/sokendai/co/ecu/icu/um/co/ecu/i8/co/ecu/i8_.htm
共通	機械技術講習会		6月18日 6月19日 6月20日	9:00～16:00 8:40～16:00 9:00～16:00	第1工作棟 加工室・会議室	なし	実際にフライス盤、旋盤、ボール盤を使用して実習を行い、機械の使用法・安全に関する講義を行う。また色々な機械加工を経験することで原理的に加工できない図面を書くことも少なくなる。 機械製図の基礎を講義と実習により学ぶ。投影法の説明から始め、図面のルールであるJIS規格についても説明する。これにより自身の意図しない製品が製作されることを防ぎ、また他の人が書いた図面を正しく理解できるようになる。
	超伝導低温科学センタ		4月24日	13:30～16:30	第二低温棟会議室	なし	高圧ガスおよび極低温冷媒(液化窒素、液化ヘリウム)の危険性と使用上の注意点について、スライド、ビデオ等を用いて講義を行う(1.5～2H程度)。 この中で、極低温容器、ガスポンプの扱い方、酸欠の危険等についても説明する。また、液化窒素を用いた実習を行い、体験を通して極低温冷媒の扱い方と注意点を学ぶ(1.5～1H程度)。
	放射線科学センタ		4月23日	13:30～16:30	放射線管理棟ビデオ室	放射線管理棟 放射性試料測定棟、放射性廃棄物保管棟、放射化物使用棟	a) 化学物質の取扱い、法規制、薬品の入手から廃棄までの手続き、KEKの排水管理等についての説明。 b) 放射線安全に関する研究及び業務についての概要説明。 c) 放射線監視装置である放射線線集中監視システムの説明。 d) 放射線測定器であるGe測定器の紹介及び放射化物に含まれる放射性物質の説明。 e) 放射化物の保管設備にて、実際にKEKに保管されている放射化物について、γ線のエネルギーを測定できるサベイメータを用いて測定し、生成核種について考察を行う実習。
	計算科学センタ		4月20日	10:00～16:00	計算機南棟第二会議室	なし	電子メールのポータル利用方法、メールの受信を拒否する設定の演習。Linuxサーバ構築と基礎的なコマンド操作を行う演習。